

12月7日(日)  
開催

日本一の五反幡(旗)行列

# 木幡の幡祭り

(国指定重要無形民俗文化財)

950年の時に刻まれた伝統を誇る古のロマンに挑戦



阿武隈の山並みに勇壮な木製法螺貝の音が響く中、白旗を先達に色とりどりの旗を大空にひるがえしながら継走する様は、壮観で優雅そのものです。

この祭りは、日本三大旗祭りの一つといわれ、950年以上の伝統を誇り、毎年12月第1日曜に開催される初冬の風物詩となっています。

また、古より伝わる儀礼を色濃く残していることから、平成16年には国の重要無形民俗文化財に指定されています。

## 起源

前九年の役、天喜3年(西暦1055年)、源頼義とその子義家率いる軍勢は、戦いに敗れ、わずか数騎で付近の農家で宿をとっていました。するとその夜、天女が夢枕に

現われ「弁財天宮で祈願すれば願いが叶うだろう。」と告げられました。頼義父子は夢に従い神社にて戦勝を祈願すると、その夜、折からの雪で山上の木はすべて源氏の「白旗」のように見え、攻め寄せてきた安倍貞任らは、これを源氏の「大軍」と思い込み戦わずして退散してしまいました。

これが陸奥鎮定の原因となり、朝廷に奏したところ、天皇はこの山を「木幡山」、山すその別当寺院を「治陸寺(陸奥を治める寺)」と名付けられ、後冷泉天皇より宸筆の額を賜りました。

その後、神仏の加護を深く信ずる郷土民により950年にわたり引き継がれ、源氏の白旗に見立てた旗を木幡山、そして別峯羽山に奉納する祭礼として今に至っています。

## 「羽山籠り」と「胎内くぐり」

色鮮やかな幡祭りには、もう一つ重要な役割を成す「羽山籠り」と成人儀礼としての「胎内くぐり」があります。

幡祭りに参加するのは集落ごとで、その集団を堂社といっています。祭りの3日前に男性

## 幡祭り日程

12月6日(土)

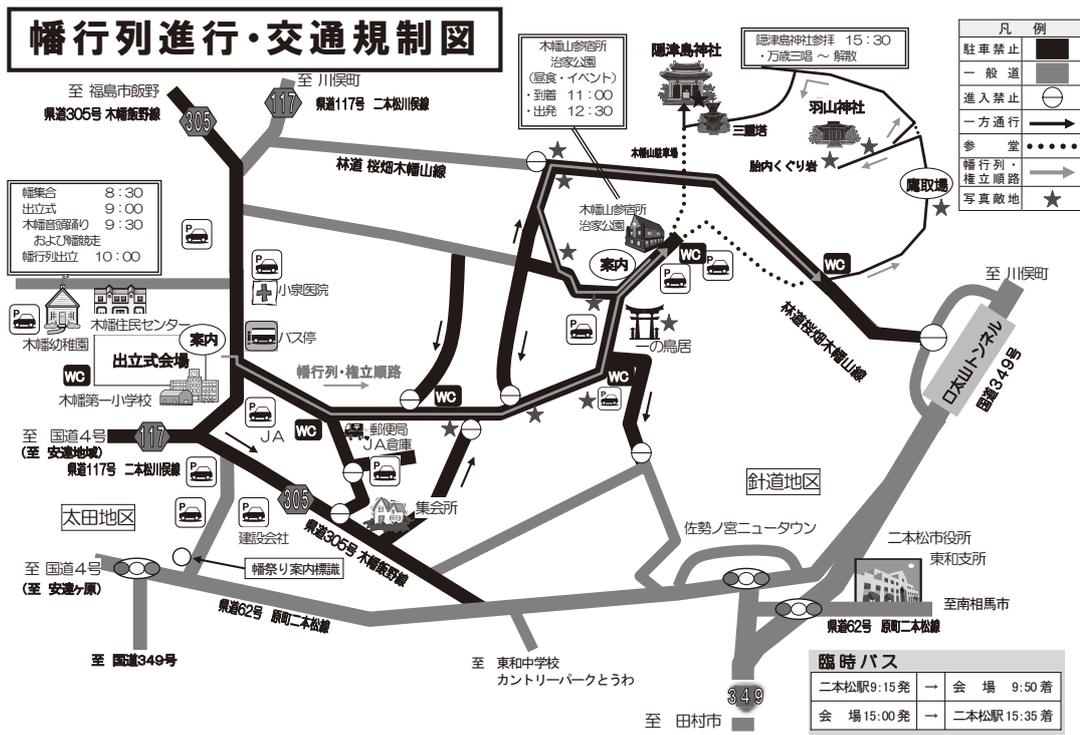
◆昼頃(はるごも)  
羽山籠り(各屋敷内の堂社)  
◆午後6時(ゆぐ)  
水垢離(核畑堂社)  
各屋敷にある井戸で冷たい井戸水を表裡で浴び、身を清める行事です。  
桶で13杯、17杯、23杯など奇数回を浴びるのが通例。現在は堂社が交代で行っています。



12月7日(日)

会場 木幡第一小学校グラウンド  
◆午前8時30分、幡集合  
◆午前9時、出立式  
修祓、総大将挨拶、官司挨拶等  
◆午前9時30分、イベント  
木幡音頭踊り、幡競走、餅つき、万歳三唱、堂社餅まき





## 木幡の幡祭フォトコンテスト2008 作品募集

木幡の幡祭りに関する作品を募集します。

### 募集規定

- ・四つ切カラー(ワイド可)。組写真や合成写真、フィルムに加工修整を加えた作品は不可。
- ※デジタルカメラ作品も可(加工修整は不可)。
- ・一人3点まで応募可。
- ・入賞者には、直ちに当該ネガ(APSフィルムの場合は当該作品を含むカートリッジ)を提出していただきます。

### 募集条件

- ・入賞作品およびフィルム(APSフィルムの場合は当該作品を含むカートリッジ)は主催者が所有、その著作権は主催者に帰属します(著作権使用料は無償)。
- ・主催者は、肖像権侵害等の責任は負いません。
- ・応募作品は返却しません。ただし、入賞しなかった作品については、応募時に返信用切手を貼り、宛名を記入した封筒を同封した場合に限り返却します。(送料は本人負担となります)。

### 表彰

- ・最優秀1点(賞金3万円・賞状・副賞)
- ・優秀2点(賞金1万円・賞状・副賞)
- ・入選2点(賞金5千円・賞状・副賞)
- ・佳作5点(賞状・副賞)

応募締切 1月13日(火) ※当日消印有効

※審査会…1月下旬

◎問い合わせ・応募先…

〒964-0292福島県二本松市針道字蔵下22  
東和観光協会事務局(東和支所地域振興課内)  
☎(66)2490・FAX(46)4122

は幡に用いる反物を集め、女性性が五反縫い合わせて一枚の幡にします。男性はこの日から水垢離をとって身を清め、堂社といっている籠堂に籠ります。

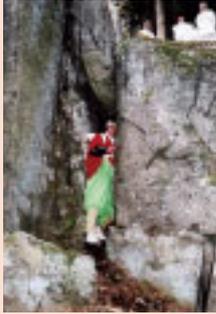
翌日は小宮参りといって、幡を持って鎮守にお参りします。各家々にも寄り、火伏せのために幡を屋根に立てかけお札や餅などを渡して祝儀をもらいます。

当日は出立式を行い、これより先達、法螺貝、梵天、駒形、神職、権立(※)などの後に白旗と色幡が続き、隠津島神社の社務所に向かいます。梵天と幡の一行は尾根伝いに羽山神社に向かい参拝します。

権立は先達の案内で羽山神社に直行し、神社手前のくぐり岩で胎内くぐりを行います。権立は、太刀と袈裟を岩の前に納め、一人ずつ順に小銭をくわえて岩の割れ目を上から下に、体をよじらせながらくぐり抜けます。抜けると小銭を何気なく地に落としそっと手で拾います。このお金は羽山神社を参拝する前に「乳」といっている粥をいただくときに差し出します。

羽山神社を参拝後、一行は下山途中に隠津島神社を参拝し、各自の堂社に戻って直会をします。

※権立：祭り初参加の若者。赤い襦袢で参加します。



◆午前10時  
出立(幡行列出発)

◆午前11時  
治家公園(木幡山参拝所)着  
昼食、イベント

◆午後0時30分  
幡行列出発(治家公園発)

◆午後2時30分頃  
羽山神社着  
胎内くぐり、権立よばり、羽山神社参拝

◆午後3時30分頃  
隠津島神社着  
隠津島神社参拝、万歳三唱解散